

第八十六日目

師 範：連合国は、1944年から、すでに戦後のことを考えて会談をしていました。
同盟国のイタリアが43年の9月には降伏し、ドイツも45年の5月には降伏しました。

つまりヨーロッパの戦争は5月には終わっていたのです。

残るは日本だけでした。



日本は終戦の8月まで、世界を相手に一国だけで戦っていたのです。

7月ドイツのポツダムでアメリカ・イギリス・ソ連が出席して戦争処理の会談が開かれました。

そして7月26日に「日本は無条件で降伏をしたほうがよい」というアメリカ・イギリス・中国の三国の共同宣言が発表されました。

日本政府は否定も肯定もせずに態度を明らかにしませんでした。

そして20日後に降伏を決断するのです。

受諾(じゅたく)までにどんなことがあったでしょうか。

1945年 ポツダム宣言を受諾する。

では、この年を覚えましょう。

ペン太：これはいかがでしょうか。



「もう行くよ降伏の道ポツダム宣言」

「いくよ」は194、「こ(うふく)」は5です。

コン太：ぼくは



「一句一句夜毎に読むポツダム宣言」

「いっく」は19、「よご(と)」は45です。

「ポツダムの 宣言一句 夜毎読む」

というのもできました。

師 範：ずいぶんよくできるようになりましたね。

短くするともっとよいのですが。